

はじめに

皆様には一段とご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに2018年度版『地域調査プロジェクト（国際地域文化コース）成果報告書』をお届けいたします。御恵存いただければ幸甚と存じます。

本報告書は、鳥取大学地域学部地域学科国際地域文化コースの2年生が、通年の必修科目「地域調査プロジェクト」で実施した調査研究の成果を記すもので、2019年1月26日（土）、とりぎん文化会館第1会議室において公開された調査成果発表会に基づいてまとめたものです。それぞれ「ラジオドラマ」「まちづくり」「国際交流」「まちの看板」「旅日記」の5つのグループで取り組んで参りました2018年度の調査報告書は、地域学部改組（2017年度）にともない、新たに「地域学部地域学科国際地域文化コース」として船出することになった最初の記念すべき「成果報告書」となります。

この新しい「地域調査プロジェクト」（2年次）の授業は、旧「地域調査実習」を引き継ぐもので、「地域学」に関する学部共通科目の一つとして、1年次に履修する「地域学入門」に続く「地域学」の根幹的科目として位置づけられており、学生たちは、さらに3年次の「地域学総説」を通して、総合的な「地域学」への理解を押し進め、専門ゼミを経て、4年次の卒業論文へと結実させて参ります。基本的にはフィールドワークの手法を取り入れ、諸地域に息づく多様な文化を調査し分析する方法を学習するという主旨のもとに、本報告書は、いわば学生一人一人が、自ら真摯に「文化」と向き合った成果であるともいえるでしょう。

さて、成果報告の内容に先立ちまして、5グループによる調査研究の概要をご紹介します。

1. ラジオドラマ再発見—「因伯千一夜 津黒城主の最后」に見る鳥取の歴史と営み—：本調査3年目を迎える「ラジオドラマ」グループは、鳥取市民の手で制作され昭和27年10月に放送された『津黒城主の最后』と題するラジオドラマを研究・再現の対象とし、その時代背景やゆかりの地を入念に調査するとともに、実際にラジオドラマに関わった当時の人々の想いも含めて考察しています。
2. “なにもない”鳥取の魅力：「まちづくり」グループでは、鳥取への移住者を対象にインタビュー調査を行い、「“なにもない”環境をポジティブに捉える人々」の実体を探る為、「“なにもない”こと」の意味や「ポジティブな捉え方をめぐる特別な能力の有無」などをテーマに公開の鼎談を行い、鳥取を内側と外側双方の視座から見つめ直し、鳥取移住の魅力と課題について明らかにしています。
3. 鳥取における「言語の壁」：2018年度の「国際交流」グループは、グローバル化に伴って生じる「言語の壁」に焦点をあて、鳥取在住の外国人へのインタビューや質問紙調査、国際観光データの分析、外国人を支援する団体への訪問など、様々な場所でのフィールドワークを通じて丹念に調査研究を進め、言語上の問題の様々な状況と鳥取での対応・解決策について詳細に検討した結果をまとめています。
4. まちの看板—湖山街道・若桜街道・鳥取南バイパス—：「まちの看板」グループでは、街中でよく目にする看板を対象に比較研究を試みました。特に若桜街道、湖山街道、鳥取南バイパス等の3拠点を中心にフィールドワークを実施し、全看板の撮影から得たデータを、色やフォント、大きさ等、12の視点で分析し、その相互関係性や要因、背景についても検討を加え、また見易い看板の特徴にも言及しています。
5. 『吉岡の日記』を読む—文化元年九月二十六日～十月四日—：「旅日記」グループでは、六代鳥取藩主・池田治道の娘（七代・齊邦の妹）の姫様姉妹が、吉岡温泉に湯治に向かう道中の様子や出来事を記した『吉岡の日記』（鳥取藩士の鷲見休明の作）を読み進める上で、改めて翻刻作業を行うことで文書をより正確に理解しつつ、特に作中に込められた作者の思いや当時の温泉の様子などをめぐり、深く洞察した内容を詳細に伝えています。

以上のように、2018年度における調査研究を滞りなく進めるにあたりまして、末筆ではございますが、「助成会」ならびに「尚徳会」の皆様には、資金の面で暖かいご支援を賜りましたことに心より御礼申し上げます。また地域の皆様のご厚誼やご協力に支えられ、さらに専門的な知識や助言を御提供下さいました研究者及び行政関係者の皆様からも新たな力を得て1年間調査を行うことができましたことに、一同、深謝申し上げます。そして本報告書が多くの人々の目に触れ、地域の文化を慈しむ気持ちを誘いながら、文化の創造と活力ある社会の実現を目ざす上での貢献となりますよう祈念いたします。

皆様には、新しい「国際地域文化コース」の実践科目として再出発いたしました「地域調査プロジェクト」を、是非とも長い目でお見守りいただきますとともに、今後ともよろしくご指導ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

2019年（令和元年）5月15日

鳥取大学地域学部地域学科国際地域文化コース コース長 内藤久子